

【オリコンサルグローバル インフラ需要に商機 アフリカ、東南アの計画参入】

オリコンサル  
グローバル

# インフラ需要に商機

## アフリカ、東南アの計画参入

ACKグループ(ACKG)が2日付で設立した100%子会社「オリエンタルコンサル



握手する廣谷社長  
(右から2人目ら

ルタンツグローバル」の廣谷彰彦社長は24日、記者会見し「取締役全員が海外業務を熟知しているため、経営判断がスピーディーになる」と分社化のメリットを挙げ、グループの海外市場のリーディングカンパニーとして、開発コンサルタント業務の拡大と強化を図っていく方針を示した。

20日にオリエンタルコンサルタツと会社分割契約書を締結しており、海外顧客への説明など9月までの準備期間を経て、10月1日から新会社事業を開始する予定だ。海外での事業展開について

廣谷社長は、発展途上国の都市化率が急激に上昇していることを踏まえ、「水、食料、コミュニケーションを含めたサービスなどを提供するたため、インフラ需要が増えているのは確実だ。そこに商機を見いだそうと思っている」と戦略を示した。また、アジア太平洋地域は引き続き力を入れていくとし、「これまでは日本を中心にさまざまなことを考えてきたが、いろいろな所に拠点を展開し、自由かつ達な商売を続けることで、われわれの将来が見えてくる」と見通した。

同社の注力する地域として、インフラ需要の継続が見込まれるアジアをメインターゲットとしてとらえるほか、アフリカや中東も潜在需要が見込まれるとし、投資を含めて取り組む。事業分野では、強みである交通運輸関係を引き続き強化するとともに、アフリカ、東南アジアなどで計画分野から参入することで新しいインフラ事業を打ち出していく方針だ。

また、防災や災害対応、耐震設計など日本が強い技術を世界市場で生かし、ODA(政府開発援助)や国内で培った技術を武器に、グローバルビジネスを展開していく。新会社は、従業員数327人、うち役員は5人。資本金4億9000万円。売上高(2013年9月実績)は102億円。

【ACKグループ OCグローバル設立 オリコンサル海外事業部門を分社化 10月1日から事業開始】

# OCグローバル設立

## オリコンサル 海外事業部門を分社化

### 10月1日から事業開始

ACKグループ

ACKグループは、オリエンタルコンサルタンツの海外事業部門であるGC事業本部を独立(分社化)し、子会社「オリエンタルコンサルタンツグローバル(OCグローバル)」を設立しており、10月1日から事業を開始する。代表取締役社長には、廣谷彰彦ACKグループ相談役会長が就任している。

ACKグループは、中期経営計画「ACK2013(強化骨子)」において、15年9月期に向けた組織改革の1つとして、海外については、オリエンタルコンサルタンツの海外事業部門をACKグループの子会社として独立(分社化)し、グループの海外市場にお

るリーディングカンパニーとすることを打ち出していた。

これを受けて、6月2日に「オリエンタルコンサルタンツグローバル」を設立し、20日には、オリエンタルコンサルタンツとオリエンタルコンサルタンツグローバルが会社分割契約書を締結した。9月30日までを海外顧客への説明などを含む事前準備期間とし、10月1日から事業を開始する。

オリエンタルコンサルタンツグローバルのめざす方向として、「世界的な企業ブランドとグローバルな企業形態」を掲げ、▽世界的な企業ブランドによりナンバーワン、オンリーワンのグローバル企業となる▽海外拠点、現地法人等の強化によりグローバルな人材による多様なサービスを展開する▽従来のODA、コン



左から、小道取締役、宮越代表取締役、廣谷代表取締役社長、福岡取締役

縮役は「海外にさまざまなネットワークを持つ強い強みを生かしたい」と語った。小道取締役は「引き続き、きめ細かい対応を大切にする」としている。

サルタント業務のみならず新たなグローバルビジネスに挑戦する▽多国籍企業としてメタナショナル的経営に適合する企業形態を築く―ことを挙げていた。

24日に、オリエンタルコンサルタンツグローバルの廣谷彰彦代表取締役社長、宮越一郎代表取締役は「海外にさまざまなネットワークを持つ強い強みを生かしたい」と語った。小道取締役は「引き続き、きめ細かい対応を大切にする」としている。

役、福岡裕一取締役、小道正俊取締役が会見を行った。廣谷代表取締役社長は、「取締役全員が海外事業を熟知しており、これまで以上にスピーディな対応ができるなど、グループの総合力も一層上がることになる」と述べた。また、宮越代表取締役は「日本のインフラ整備で培ってきたノウハウなどを生かし、世界市場に展開する」とし、福岡

世界的建設コンサル  
タントとしてのブラン  
ド確立へ。ACKグ  
ループ(野崎秀則代表  
取締役社長)は24日、  
新会社「オリエンタル  
コンサルタンツグロー  
バル(OCグローバル、  
廣谷彰彦代表取締役社  
長)」の設立を発表し  
た。新会社OCグロー  
バルは「世界的な企業  
ブランドとグローバル  
な企業形態の確立」  
(廣谷社長)を旨とし、  
分社分割の効力が発現  
する2014年10月1

日から事業をスタート  
させる。

ACKグループは、  
同社の子会社であるオ  
リエントタルコンサルタ

社化し、新会社OCグ  
ローバルを設立した。

ACKグループは、  
同社の子会社であるオ  
リエントタルコンサルタ

の宮越一郎代表取締役  
らが「世界的に都市化  
率が上昇しており、今  
後、さらに開発途上国  
で急伸する」との見方

を急伸する」との見方  
を示した。

ていることなどを挙  
げ、「世界のコンサル  
タントビジネスのスケ  
ールはとてつもなく拡  
大している」との認識  
を示した。

その上で、交通イン  
フラや防災など、これ  
まで獲得してきた「日  
本ならではの経験や技  
術がある」と指摘。こ  
れらの技術をコア・コ  
ンピタンス(中核的な  
技術)として「多様な  
ビジネスを展開し、商  
機を見いだしていく」  
考えを強調した。

ACKグループ

# 「OCグローバル」設立

## 世界的企業ブランド確立へ

ンツ(野崎秀則代表取  
締役社長)の海外事業  
部門であるグローバル  
コンサルタント事業本  
部を吸収分割方式で分

とOCグローバル間の  
会社分割契約書は6月  
20日に締結している。  
新会社の設立発表の  
席上、OCグローバル

を披露。さらにOEC  
D(経済協力開発機構)  
が「2030年までに  
新たに30億人の中間層  
が誕生する」と予測し

を披露。さらにOEC  
D(経済協力開発機構)  
が「2030年までに  
新たに30億人の中間層  
が誕生する」と予測し